2017年10月号「vol.88」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

# あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

## 明治以降の著名人の元別荘などが会場 地域性活かした湘南邸園文化祭開催中

「文化の秋」を迎える中、湘南ベルト地帯を中心とする地域で9月23日から12月24日まで第12回湘南邸園文化祭が開かれています。神奈川県とこの地域に関係する30の団体（鎌倉別荘地時代研究会、大磯まちづくり会議、小田原邸園文化ネットワークなど）が協働主催して開いているもので、同文化祭は2006年から毎年開かれています。多くの会場で美術作品展覧会、コンサート、地域巡り、お茶会などさまざまな文化行事が開かれていますが、この文化祭の特色は、この地域に多数存在する著名人の元別荘だった建物などを会場として活用している点。施設に親しんでもらったり湘南の歴史にも思いをはせてもらおうという趣旨が込められています。

湘南ベルト地帯を中心とする相模湾岸地域は、気候温暖で風光明媚な土地柄から明治期より別荘・保養地として親しまれてきました。首都圏で活躍する政財界・文化人らが滞在し、交流する地域として発展してきた歴史があり、これらの人の別荘が設けられ、その多くの建物や庭園が現存していることから、これらを会場に活用した行事をスタートさせたものです。別荘などの建物は明治期を中心に大正から昭和期まで多数建てられましたが、このうち現存するものは自治体で管理していたり、民間企業が迎賓館として利用しているなどしており、建物は和洋折衷など時代を反映した作りを反映しているなど歴史のにおいを感じさせるものとなっています。

昨年の同文化祭では期間中、約1万5000人の参加がありましたが、今回は横浜から三浦半島、湘南、小田原・湯河原・箱根まで14市町にある45の会場で61のイベントが展開されます。例年参加していた真鶴町が参加を見送りましたが、初めて横浜からの連携参加があったことが特色となっています。住友財閥創業者の一族の16代目が1939年、戸塚区に建設した俣野別邸（一時、国指定重要文化財）が2009年、火事で焼失し、今年4月、復元再建されて一般公開されていますが、ここで10月7日に講演会、12月にはハープコンサート、世界の歴史的建造物版画展などが開かれます。

### コレが言いたい！

2018年は明治150年となる事から、明治以降の歩みを次世代に遺すことや、明治の精神に学び日本の強みを再認識するため、国は「明治150年」に向けた関連施策を推進します。その施策の一つとして、大磯町にある旧伊藤博文邸「滄浪閣」を中心とする建物や緑地を「明治記念大磯邸園」として整備することが検討されています。邸園文化を広く発信する機会となるため、国や町とともに取り組みを進める必要があります。

### 今月のひと言

10月21（土）、22日（日）に赤レンガ倉庫広場にて、「共生社会」の理解を深めるイベント「みんなあつまれ2017」を開催します。障がいのある作家のアート展示や、一緒に体験できるワークショップコーナー、障がい福祉サービス事業所による飲食ブース、ボッチャなどのスポーツ体験コーナーなどが設置されます。

# 磯子 あれ？これ？

## 区制90周年を記念して（前期の根岸湾埋め立て）

明治初期の磯子の海岸地域は、漁業で生計を立てている人達が多く居ましたが、横浜の開港を堺に物流や職業も多様化され、同時に人口も増えました。

この頃、磯子の海岸から横浜の内陸部へ物資を運ぶ運河（堀割川）が造られました。そして、明治3（1870）年は神奈川県と埋め立て工事人が「滝頭村海岸に波止場を築造しなければならない。そのために、堀割川を掘った土を用いること」という取り決めをして、波止場を造る工事がはじまりました。場所は堀割川河口（八幡橋のJR根岸線ガード下周辺）。ところが、実際に工事を始めてみると予算不足と地形の悪さや技術不足などが重なって難航しました。盛り上げた土砂は何度か暴風雨や高波で崩れ、その都度修理が必要となりました。やっとの思いで波止場が完成したのが明治5（1872）年のことです。

その後、根岸湾の埋め立ては明治17（1884）年から時代を超えて昭和16（1941）年頃までに9つの区画に分けて行われました。そのうちの一か所は漁場の環境悪化を心配する漁業関係者や地元住民の反対により見送られました。

昭和16（1941）年、南洋諸島との民間定期航路の水上飛行場として、今の根岸中学校から根岸駅の先にかけて政府が埋め立てをおこないました。戦時中は日本軍が主に使用していました。戦後は、アメリカ軍に接収されてしばらくの間、アメリカの小型軍用機の飛行場として使用されていました。

参考資料：磯子の史話

## 活動報告

**9月26日（火）、群馬県高崎市の独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園を自民党有志で視察に訪れました。**

## 成田詣と新春の集い

**◎日にち：平成30年1月20日（土）**
**◎会　費：8,000円**
**◎行　程：磯子区内発（8時頃）＝🚌＝成田山新勝寺＝🚌＝新春の集い（成田東武ホテルエアポート）＝🚌＝都内観光＝🚌＝磯子区内着（17時頃）**

**◎お申込み・問い合わせは、**
**あらい絹世事務所**
**（電話：045-751-5250）まで**

## あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 環境農政常任委員会委員
- 社会福祉審議会委員
- 社会問題対策特別委員会副委員長
- 政務調査会副委員長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600